2025年度 目標・実績

目的・目標テーマ		2025年度	
		環境目標	実 績
地球温暖化対策	1	お客さま先における省エネ化重点製品の使用に伴うCO_2排出量を削減します ●LCA（ライフサイクルアセスメント）の推進と環境配慮設計ガイドラインの改定 ●生産ラインにおける製品別消費電力量測定の実施	●目標達成 ●目標達成
	2	低GWP冷媒活用に向けた冷凍技術の確立と低GWP冷媒を搭載した製品の開発	目標達成
	3	取引先におけるCO_2排出量を20%削減します（2019年度比）	目標達成　37%削減（取引先69社）※1
	4	製品廃棄時のフロン回収体制の拡充に取り組みます ●フロン回収の試験運用を実施	目標達成
	5	事業活動におけるCO_2排出量を55%削減します（2019年度比） 対象範囲：連結	目標未達　35%削減※2
		(1) 製品へのフロン充填時の漏洩削減に向けた施策の展開	目標達成　削減量：220t-CO_2
		(2) さらなる省エネの取り組み ●受託試験所の老朽化設備の廃棄 ●2024年度実施の省エネ診断結果を国内主要工場の改修計画に展開	●目標達成 ●目標見直し
		(3) グローバル事業所における再生可能エネルギー導入率の向上 ●連結対象事業所での再エネ導入率：65%	目標未達 連結対象事業所での再エネ導入率：51.9%
		(4) 国内グループにおける社有車（一部サービスカーを除く）の3%をEV（電気自動車）またはPHEV（プラグインハイブリット車）に置き換え	目標達成　3.4%を置き換え
生物多様性保全	6	環境保全事業における植樹によりCO_2の固定化に貢献します ●森づくり件数：15件/年 ●植樹指導本数：15,000本/年（CO_2固定貢献量：29t相当）	●目標達成　森づくり件数：17件/年 ●目標達成　植樹指導本数：15,804本/年（CO_2固定貢献量：30t相当）
	7	生物多様性保全に関する土地評価、実施指導、業務委託などの受注拡大に取り組みます ●受注件数：30件/年	目標達成　受注件数：57件/年
	9	エスペックみどりの学校での環境教育を通じて人材育成に取り組みます ●国内連結グループ会社の社員に対する環境教育の拡充と実践 ●地域における企業・学校向け環境教育の拡充 ●公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成の充実 助成件数：15件以上/年	●目標達成 ●目標達成 ●目標達成　助成件数：17件
その他	10	製品リサイクルサービスの回収台数2019年度比150%を目指します	目標未達　103%
	11	製品含有化学物質に関する法令を順守します ●EU-RoHSへの対応 ●REACHへの対応 ●製品含有化学物質に対応するための社内システムの改善	●目標達成 ●目標達成 ●目標達成
	12	開発・設計・製造プロセスにおいて汚染と廃棄物を出さないモノづくりを行います ●取扱説明書のCD-ROM提供の見直し	目標未達、活動継続
	13	事業活動に伴う水リスクの把握と対応を行います ●事業活動に伴う水使用量の把握と、取水・排水実態調査の実施 ●CDP「水セキュリティ」質問書への対応	●目標達成 ●目標達成
	14	CDPやTCFDへの対応など開示情報の充実を図ります ●CDP調査における「Aースコア」を環境経営の指標として取り組みを推進、統合質問書への対応 ●TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）およびTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）に基づく情報開示の実施	●気候変動「Bスコア」、水セキュリティ「Bースコア」、サプライヤー・エンゲージメント・リーダー選定 ●目標達成

※1 エスペック株式会社の主要取引先137社のうち、CO_2排出量削減目標を設定した取引先
※2 削減率の算出に用いた基準年度値は、独立した第三者機関による保証を受けた数値です

第8次環境中期計画PlusⅡおよび2026年度目標

重点テーマ		第8次環境中期計画PlusⅡ（2026-2027年度）	2026年度 環境目標
地球温暖化対策の強化	1	省エネ製品に貢献する高効率な新冷凍技術を開発します	省エネ製品に貢献する高効率な新冷凍技術を開発します
	2	低GWP冷媒搭載製品（CO_2冷媒を含む）を開発します	低GWP冷媒搭載製品（CO_2冷媒を含む）を開発します
	3	取引先におけるCO_2排出量を40%削減します（2019年度比） 対象範囲：主要取引先69社（購入部品カバー率60%）	取引先におけるCO_2排出量を30%削減します（2019年度比） 対象範囲：主要取引先69社（購入部品カバー率60%）
	4	製品廃棄時のフロン回収体制の拡充に取り組みます	製品廃棄時のフロン回収体制の拡充に取り組みます ●顧客への提案活動および意見収集の実施、回収体制の整備
	5	事業活動におけるCO_2排出量（SCOPE 1+2）を57%削減します（2019年度比） 対象範囲：連結	事業活動におけるCO_2排出量（SCOPE 1+2）を56%削減します（2019年度比） 対象範囲：連結
		(1) グローバル事業所における再生可能エネルギー導入率向上を実現します ●連結対象事業所での再エネ導入率：80%	グローバル事業所における再生可能エネルギー導入率向上を実現します ●エスペック測試科技（上海）において再生可能エネルギー証書を用いた100%再エネ化の実施 ●ESPEC ENGINEERING (THAILAND)における再エネ導入に向けた調査・検討の実施
		(2) 製造時に漏洩するフロンによるGHG排出量を950t-CO_2削減（累計）します	製造時に漏洩するフロンによるGHG排出量を削減します ●主力3製品での削減実施に向けたライン改善案の策定 ●2025年までに展開した製造ラインでの活動継続
		(3) 自家発電比率の向上による再エネの安定調達を推進します	自家発電比率の向上による再エネの安定調達を推進します ●福知山工場に新規建築する建屋への太陽光発電の導入
		(4) 国内グループにおける社有車の5%をEV（電気自動車）またはPHEV（プラグインハイブリット車）に置き換えます	国内グループにおける社有車をEV（電気自動車）またはPHEV（プラグインハイブリット車）に置き換えます ●福知山工場および神戸R&Dセンターへの電源設備の設置 ●EV・PHEV導入に向けた計画策定
生物多様性保全の推進	6	エスペックミックが生産する製品で、生物多様性保全に貢献します	エスペックミックが生産する製品で、生物多様性保全に貢献します ●緑化資材製品の売上高：1.1倍（2025年度比）
	7	生物多様性に取り組む顧客、他企業や団体とのつながりの環を広げます	生物多様性に取り組む顧客、他企業や団体とのつながりの環を広げます ●エスペックミックの技術支援により生物多様性に取り組む顧客：10社/年増加
	8	「エスペック50年の森」づくりにより生物多様性保全を推進します	「エスペック50年の森」づくりにより生物多様性保全を推進します ●「エスペック50年の森」の維持管理 ●兵庫県立人と自然の博物館との共同研究の推進
	9	「エスペックみどりの学校」での環境教育を通じて人材育成に取り組みます	「エスペックみどりの学校」での環境教育を通じて人材育成に取り組みます ●関西学院大学との「命を守る森づくり推進リーダー養成セミナー」の開催 ●地元小学校等を誘引し、神戸R&Dセンターにて自然学習イベントを実施 ●公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成の充実 助成件数：15件以上／年
資源循環の推進と化学物質管理の強化	10	製品リサイクルサービスによる当社製品の適正廃棄と資源循環を推進します	製品リサイクルサービスによる当社製品の適正廃棄と資源循環を推進します ●製品リサイクルサービス回収台数：120%（2019年度比）
	11	法規制対応プロセスの効率化に向け「製品含有化学物質情報の充実化」に取り組みます	法規制対応プロセスの効率化に向け「製品含有化学物質情報の充実化」に取り組みます ●CMP（Chemical & Circular Management Platform）への対応 ●chemSHERPA（製品含有化学物質の情報伝達スキーム）の推進 ●製品化学物質規制（RoHS、REACH、DP/UV-328、MCCP/LC-PFCA）対応
	12	汚染と廃棄物を出さないモノづくり（開発・設計・製造）を推進します	汚染と廃棄物を出さないモノづくり（開発・設計・製造）を推進します ●取扱説明書提供におけるCD-ROM配布の見直しによるプラスチック量の低減
	13	事業活動に伴う水リスクの把握と対応を行います	事業活動に伴う水リスクの把握と対応を行います ●国内事業所の水使用量の把握と、海外事業所へ取水・排水実態調査の実施 ●CDP「水セキュリティ質問書」への対応
開示情報の充実	14	開示情報の充実を図ります（CDP/TCFD/TNFD対応）	開示情報の充実を図ります（CDP/TCFD/TNFD対応） ●CDP質問書への回答対応 ●TCFDおよびTNFDレポートの更新と開示